

## 第4回定期総会

2012年5月17日(木)NPO法人フードバンク山梨第4回定期総会を甲府西公民館にて開催しました。正会員数91名に対し、本人出席20名、委任状提出45名、計65名の出席がありました。9名の傍聴の方も迎え、全議案が可決・承認されました。

第1号議案 2011年度の事業報告・収支報告 監査報告

2011年度の事業報告と収支報告を行い、監事より監査報告を行い、承認されました。

第2号議案 2012年度の事業計画・収支予算 承認の件

2012年度の事業計画・収支予算について説明を行い、承認されました。

第3号議案 会費の変更について

フードバンク山梨の運営基盤安定のために、会費の変更について提案を行い、承認されました。

《新会費》

個人正会員	1口	5,000円	法人正会員	1口	10,000円
個人賛助会員	1口	3,000円	法人賛助会員	1口	5,000円

第4号議案 定款の一部変更について

定款の一部変更について提案を行い、承認されました。

未来にフードバンクが当たり前存在する社会を残していく為に、引き続き皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。



第4回定期総会 記念講演 奥田知志氏講演会 NPO法人北九州ホームレス支援機構 代表  
2012年5月17日(木) 山梨県立文学館 講堂

### － 絆が希望を創り出す －

「絆」とは何だろう

震災以降、日本中が「絆」ブームになったが、「絆」とは一体何だったのだろうか。

絆の支援は一方的なものではない。相互性が必要ではないかと考えている。

人との出会いは相互性がある。もらうと同時にあげる。助けてもらうと同時に助ける。傷を癒してもらうと同時に傷つけられる。支援の現場で起きる出会いは、そんなに麗しくない。出会うというのは、責任が発生して、しんどくなる。でも出会う、共に生きる。「絆」はそういうことを含み、「傷」が含まれている。出会うとお互い傷つくけれど、傷ついた中で人と人は一緒に生きて行くんだ。そういう「絆」を目指そう。



フードバンク山梨への期待

フードバンク山梨は、食糧の支援を通じて困窮者支援をしていると聞いた。今から先の時代は、1つのことに2つ、3つの意味を複合させていくことがとても大事である。食の確保と同時に、心の関係が生まれていると聞いて、とても素晴らしいと思った。これからの日本の生活困窮者支援にとって、山梨の地で行われていることが大きく取り上げられるべきだと思う。

自己責任論は、困窮状態に陥った原因も、そこから脱出することも、すべてあなたの自己責任と言い切る。しかし、一人でやれということだから、社会はいらぬということになり、最終的に社会は崩壊してしまう。

自己責任を果たせる社会をつくるというのが一番大事であって、そのためには社会がちゃんと責任を果たすことが必要である。フードバンク山梨の働きは、まさに社会的責任として行使されている。自己責任がとれる社会にしようというのが私の主張だ。